

みさと 市議会だより



No. 166

2016年7月15日号

年4回発行

発行 埼玉県三郷市議会

議会は市の
議決権
を
行使する



幸房小学校で「南極教室」を開催



南極昭和基地とライブ中継！

主な内容 平成28年6月定例会

- ・ 論点「幸房小学校プール新築工事」 2
- ・ 市政に対する一般質問 4
- ・ 6月定例会提出議案とその結果 9
- ・ 国・政府に要望 11
- ・ 読者の声、議会あれこれ 12

論点

6月定例会に上程された議案のうち、特に市民の方々に関連の深い議案が、どのように審議されたか、その要旨をお知らせします。

幸房小学校プール新築工事

平成29年3月完成

観覧席のあるプール



6月定例会

6/1~14

6月定例会には、市長から「工事請負契約の締結について」など9議案が提出され、原案どおり可決しました。

議案第42号 工事請負契約の締結について

【内容】プールの新築工事を行うため、請負契約を締結するものです。予定価格1億5千万円以上の契約のため議会の議決が必要です。

▽本会議や委員会では次のような質疑がありました。

問 新しいプールの特徴は。

答 屋根つき観覧席の設置は、幸房小新築プールの特徴である。通常の水泳授業のほか、水泳の授業研究会、学校公開での授業参観時の児童・保護者等の日よけ対策や熱中症予防に対する効果が期待される。さらに、水深を1・0から1・3メートルに設定することにより、中学生にも対

応でき、将来的に、小中学校交流水泳大会の実施も想定している。

問 約150人分の観覧席数の必要性は。

答 水泳大会は、保護者などからの関心が高く、例年多くの参観があり、観覧席の設置の必要性を感じていた。平成29年度から幸房小学校で水泳大会を開催することにより、屋根つきの観覧席から児童を応援でき、大会がより一層盛況になると考える。

問 一般市民への開放予定は。

答 今回の工事は学校施設としての新築であり、一般市民への開放などは想定していない。しかし、中学生や高校生をはじめ、オリンピック出場経験者などが泳法の手本を見



熱中症予防や市内水泳大会に期待！

屋根つき



市内小学校水泳大会（昨年度）



観覧席イメージ図

【工事概要】

履行期限	平成29年 3月10日
請負金額	2億2,896万円
請負業者	不動産株式会社 三郷営業所 営業所長 小野 弘

■プール概要

規模	25m×13m 深さ1.0m～1.3m
コース数	6コース
構造	ステンレス製

■建物概要

□観覧席

収容人数	約150人
構造	膜構造
屋根面積	190㎡

□その他付帯施設

男女更衣室、男女トイレ、シャワー、機械室、倉庫

問 せるなど、異年齢交流として水泳教室等を行うことは可能だと考える。

答 ステンレス製プールの耐久性は、昭和50年代から60年代に主流であったアルミ槽を用いたプールは、近年になって修繕が必要となってきたものが多く、耐用年数は30年から40年であると考えられる。平成に入ってから主流となったステンレス槽を用いたプールは、修繕事例がまだないが、アルミ製のプールよりも耐久性が高いと考える。

問 幸房小学校の増築やプール新築等に関するトータルコストとその内訳は。

答 約18億7千万円を見込んでいる。内訳は、校舎の増築、プールの解体・新築、外構工事、諸設計費、除染土の移設に約15億1千万円。既存校舎の大規模改修工事で約3億2千万円。太陽光発電設備について約4千万円である。

最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告し、採決の結果、全議員賛成で可決しました。



幸房小学校児童の水泳授業の様子（昨年度）





市政に対する

一般質問

— 質問議員 —

菊名 裕	佐藤 睦郎	逢澤圭一郎	佐藤 裕之
佐々木 修	工藤智加子	和田 司	鳴海 和美
加藤 英泉	稲葉 春男	野村 徹	森 忠行

市民の要望を市政に反映させるための一般質問は、各種の行政課題を取り上げて、4日間にわたり12人の議員が活発な論戦を展開しました。 ※記事掲載は順不同。内容は一部抜粋しています。

つくばエクスプレスの 東京駅延伸を

議員

4月に行われた交通政策審議会において16年ぶりとなる答申が示された。引き続き秋葉原から東京間の延伸が国際競争力の強化に資する鉄道として位置づけられ、さらには新たに都心部・臨海地域地下鉄構想（東京（有明）の新設及び同構想と常磐新線（TX）延伸の一体整備が盛り込まれた。これまで秋葉原から東京間では採算性の問題等から一都三県及び沿線自治体の中でも様々な意見があったが、同構想が盛り込まれたことにより多くの自治体でメリットが期待される。本市においても利便性・ポテンシャルがますます向上するだけでなく、中長期的なまちの発展につながるものである。事業費等大きな課題もあるが、本市としての今後の対応は、

市長 沿線都市で構成される、つくばエクスプレス沿線都市連絡協議会において東京駅延伸に向けた具体的な事業費や需要予測、費用便益などの調査が、検討されるよう、鉄道事業者や沿線都市と連携



つくばエクスプレスの延伸を

まちづくり推進部長

今回答申で使った需要推計モデル等の詳細なテクニカルレポートと路線別の需要推計結果を国が公表する予定であり、それを踏まえ沿線自治体と取り組んでいく。

新たな認知症対策が

スタート

議員

現在、高齢者の4人に1人が認知症またはその予備軍と言われる、今後高齢化が進むにつれて、ますます増加傾向にある。地域包括ケアシステムにおける認知症施策に伴い、本年1月よりスタートした「認知症初期集中支援チーム」の概要等を伺う。

福祉部長

認知症初期集中支援チームとは、認知症診断の専門医師と看護師、介護系資格を持つ担当地区の地域包括支援センターの職員で構成される。チームは、認知症が疑われ、医療機関の受診や介護サービスの利用につながっていないかたを対象に、訪問や検討会議・家族支援などを包括的・集中的に行う。また、医療機関と連携しながら、診療に結び付けるサポートを行う。支援期間は概ね6か月間である。平成28年1月からの事業開始とともに、民生委員、介護事業者への周知をはじめ、市のホームページにおいて市民のかたにも周知している。

その他の質問 交通安全対策。



認知症支援オレンジカフェを開催
ほっとサロン・いきいき

救急医療情報キットの電子化は

電子化は

議員 救急医療情報キット利用者

に対する救急活動に情報通信技術を活用し、さらなる迅速化を図ることが重要と考える。同キットの医療情報を電子化して救急本部で管理し、救急出動の際に、このデータを救急車のタブレット端末に送信すれば、救急隊員が現場到着前に、患者の持病やかかりつけ医療機関などの情報を得られ、より精度の高い対応や処置が可能となり、救命率の向上が期待できる。そこで、救急医療情報キットの電子化について伺う。

消防長 救急医療情報キットの情報

を電子化して、救急隊が現場に到着する前にタブレット端末へ



現行の救急医療情報キット

伝送することは、事前に傷病者の情報を把握することができ、到着後、速やかに活動に移れることから、有効な手段と考える。キットを配布している福祉担当課においても、氏名、住所など以外の情報を把握してないことから、関係各課と連携して、調査研究していく。

その他の質問 防災対策。

地震災害後における市内指定避難所の使用判断について

議員 指定避難所としての使用判断

について、①何をもとに判断を行うのか。②避難所の建物自体の危険度判定は誰がどのように判断をし、開設をするのか。また、その避難所が使用できないと判断された場合、次の避難所はどうするのか。③市役所本庁舎の安全性は担保されているのかどうか。④現在、三郷市においての業務継続計画はどのようなになっているのかについて伺う。

市長 ②③今回の熊本地震に際

し、本市からも職員を派遣している。避難所自体が被災した場合の対応について、さらなる調査研究を行い、検討を進めていきたい。

環境安全部長 ①②「避難所安全

確認チェックシート」を使用して、避難所を開設する担当者が目視で点検し、異常がなければ使用する。また、次の避難所については、指定外の施設での開設やテント等の仮設も対象とするほか、別の避難所に分散して避難する。これらの判断は災害対策本部が行う。④業務継続計画については、今年度中の策定を目的に、現在、検討作業を進めている。

財務部長 ③本庁舎についてはあ

らためて耐震診断を実施するなどして、耐震性を検証し災害後の対応について検討していく。

民生委員・児童委員の人材の確保を

議員 少子化や核家族化によって

地域のつながりが薄れるなか、高齢者や障がいのあるかた、子育てや介護をしているかたなどが、周囲に相談できず孤立してしまうケースが増えている。高齢者・障がい者世帯の見守りや安否確認など、地域の身近な相談相手として必要な支援を行うのが民生委員・児童委員である。また、住民の生

活上のさまざまな相談に応じ、行政をはじめ適切な支援やサービスにつなげる重要なパイプ役でもある。現在213名の定数のところ193名の委員と、担い手不足の課題もあるなか、今年は一斉改選が行われる。そこで、周知や今後の取り組みなどを伺う。

市長 市民にとって一番身近な相

談相手として日々研鑽に励み、献身的に活動していただき心から敬意を表し、深く感謝する。地域の状況に誇りや自覚をもち、自治会長を中心に、各民生委員・児童委員協議会の皆様に協力いただき、地域の信望がある候補者の推薦をお願いしている。

福祉部長 若手の確保として、商

工会青年部や青年会議所等にも働きかけしていく。またSNS等でも情報発信の方法を検討していく。

その他の質問 災害対策。

災害対策。



耐震診断・耐震改修費等の 助成率引き上げを

議員

4月に発生した熊本地震は多くの犠牲者と甚大な被害をもたらした。また、5年前には東日本大震災が発生し、大津波と福島原発により、その復旧は道半ばの状態である。自治体には、住民の生命・財産を守る重要な役割が求められる。そのための万全な防災対策の強化として、耐震性の高い住居が求められる。本市は、住宅の耐震診断・耐震改修費用への助成事業はあるが、耐震改修工事が進まない最大の原因は、対象者の多くが所得の低い高齢者であることが所得の低い高齢者であることだ。補助率を抜本的に引き上げ、住民の財政負担の軽減を検討すべきではないか伺う。

まちづくり推進部長

今年7月下旬から市内5か所で住宅の耐震化



を実施するための説明会を開催する。説明会では、建物所有者の負担を軽減するため、市内2つの金融機関の協力による融資制度を紹介する。また、耐震改修ができないかたには、耐震シエルトや防災ベッドの補助制度を紹介し、大地震による被害の軽減に努めていく。補助金額の増額については、今後調査・研究していく。

その他の質問

市内経済活性化など。

高齢者への補聴器購入の 補助を

議員

高齢による聴覚障がい、相手との会話が煩わしく感じたり、相手に失礼だと思ってしまうなど、相手との会話が乏しくなるなど、日常生活に大きく影響する。このことがきっかけとなり外出の機会が減って社会活動ができなくなれば、認知症などの発症の要因になりかねない。高齢者の暮らしが経済的に厳しいなか、補聴器の費用負担が重いからといって問題を放置することがあるのではない。県内では先進自治体が介護予防策の一つとして、補聴器補助事業を行っている。

三郷市が全国的にも、いち早く高齢化が進展する自治体であることから、あらゆる手立てを講じて介護予防事業に取り組みなければならぬ。補助事業の実現で、高齢者が積極的に補聴器を活用し、社会参加を推進するよう費用負担の支援を検討すべきではないのか。市長の見解を伺う。

市長

よりよいコミュニケーションの確保は積極的な社会参加を促し、閉じこもりの防止などに役立つものと考えます。すでに実施している自治体の事例等の研究を含め課題の整理を行っていく。

その他の質問

産業振興問題など。

放課後児童クラブの 文化施設の活用を

議員

三郷市は若い世代の転入が相次ぎ、大型マンションの建設によりさらに増加が見込まれる。現状として保育所入所児童数は平成20年度と比較すると本年は1・5倍となり、女性活躍推進法の施行により女性の就労も増え、今後児童クラブの利用者も増加すると思われる。そこで、どのように人



児童クラブの様子

数を見込み、準備を進めているのか。また、学校内の施設が足りなくなつた場合に、保育所併設の民間児童クラブのさらなる利用と文化施設の活用について伺う。

学校教育部長

平成28年度から入室枠の拡大を図っており、5月1日現在の入室児童数は、864名となつている。公営児童クラブについては、小学校施設内での受け入れ態勢を整え、市内公共施設等の活用など、様々な方策を検討して、待機児童の解消に努めていく。

市民生活部長

文化施設の活用は今後、放課後児童クラブの受け入れなどについて、相談があった場合には、個々の事情を考慮しながら、担当部署と調整を図っていく。

障害者差別解消法の施行 による取り組みは

議員 障害者差別解消法が平成28年4月1日施行された。障がいを理由とする差別的取り扱いの禁止、合理的配慮をすることが、国及び市町村で対応すべきことになってきている。①三郷市ではどのような対応を考えているか。②また、障害者差別解消支援地域協議会の設置は。③ユニバーサルデザイン、バリアフリーなど、各施設での対応について伺う。

市長 ①本市においては、全課対象の職員研修を行い、法の趣旨などの周知を進めている。今後も引き続き市民や職員、民間事業所への周知・啓発を推進していく。



三郷市役所の障がい者用駐車場

財務部長 ③本庁舎では、駐車場の整備や南側入口の手すりの設置、オストメイト対応トイレの設置を行っている。

市民生活部長 ③文化会館及び戸ヶ崎コミュニティセンターは、オストメイト対応トイレのほか、点字ブロックの配置や聴覚障がい者用磁気ループの貸出を行っている。

福祉部長 ②障害者差別解消支援地域協議会の設置に向け検討する。③健康福祉会館では、オストメイト対応トイレのほかエレベーターの行き先ボタンの点字表示など工夫している。

その他の質問 市内経済対策など。

道路の老朽化対策のため 過積載車両の取り締まりを

議員 三郷市内の主要道はコンテナ車・トレーラー・ダンプカー等の大型車の通行量が多く、これら大型車の積載量は制限の2倍は当たり前で、3倍の車両も多い。国などの実験結果によると道路・橋の劣化に与える影響は、20トンの車1台が10トンの車の約4000台（4000倍）相当となる。ま

た、全走行車両のうち、わずか0.3%の重量を違法に超過した大型車両が、道路・橋の劣化の9割以上を引き起こしている。このような車が国道を下りて、三郷市内を走り抜けている。老朽化対策、道路行政を考えた場合、道路・橋の破壊防止だけでなく、交通事故防止・安全のためにも、市内において徹底した過積載車両の取り締まりと罰則強化をしようか。

建設部長 過積載の大型車両が頻繁に通行すると、道路に悪影響を与え、路面が破損し、事故の原因になる可能性がある。今後も市民が安心・安全に道路を利用できるよう関連課と連携を図り、警察による過積載車両の取り締まり強化などについて要望していく。

その他の質問 行政問題など。

本庁舎の耐震性は

議員 熊本地震は被災者救援の拠点となるべき本庁舎が大きな被害を受け、救援に大きな支障があったということである。三郷市役所の本庁舎は新耐震基準後に建築されたため耐震診断、耐震化工事は

なされていないが、今後予想される大災害に十分耐えることができるとか。また庁舎の1階フロアの改修もあわせて必要ではないか。

市長 本庁舎は昭和58年6月に竣工し、昭和56年に改正された建築基準法による新耐震基準に基づき設計された建物である。震度6強程度の地震においては部分的損傷が生じるものと認識している。しかしながら、本庁舎の耐震性の向上は重要であり、震災後の業務継続等を考え早急に耐震診断を実施し、災害後の対応について検討していく。また1階フロアの改修の方法についても来庁者や職員が快適になるよう先進地の事例を研究していく。

その他の質問 陸上競技場の施設運用についてなど。



三郷市役所本庁舎
(昭和58年築造)

地元業者の育成を

議員

消費の落ち込みは予想以上に長引いていると言われ、そのよ
うな中で、市民が納めた税金はな
るべく市内業者にとりいう市内循環
型経済が叫ばれている。市内業者
育成と市役所発注の仕事がどのよ
うになっているのかは大変重要で
ある。①三郷市内業者の物品、工
事等請負率は。②入札は公正・公
平であることは当然だが分離・分
割発注は、どのような現状なのか。
③随意契約の創造的運用を図った
ものといわれ、地元の中小零細業
者も仕事ができる小規模登録業者
制度での発注は。④地域の貢献度
も加味される入札の総合評価制度
の発注を高めることについてどう



幸房小学校増築工事

◆議会の詳細は「会議録」で

三郷市議会ホームページまたは、市役所内の
市政情報コーナー、図書館などで「会議録」
を閲覧することができます。なお6月定例会
の会議録は8月下旬に更新する予定です。
▶会議録速報版を公開…閉会から1か月を
目安に、ホームページにてPDF形式で
公開していますので、ご覧ください。
※「会議録速報版」は校正前原稿のため、
正式な会議録ではありません。

三郷市議会 会議録

検索

なのか。⑤現場で働く労働者の賃
金把握は市としてできているの
か、現状と対策を伺う。

財務部長

①平成27年度の件数割
合で工事請負は76%、物品購入は
36・7%である。②電気工事、機
械工事などの分離分割発注を適切
に推進している。③平成27年度の
発注件数は306件で、全庁的に
取り組んでいる。④市内事業者の
受注機会確保に配慮した評価項目
を含めた設定をしている。⑤設計
労務単価の上昇を受け、請負代金
額が増額となる場合は、技能労働
者への賃金水準引き上げ等を要請
している。

その他の質問

選挙投票など。

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

議会傍聴は、議会活動に触れる最も身近な方法です。

本会議や委員会では、市民の皆様の生活に直接関わる重要な問題
について、活発な議論が交わされますので、市政への理解を深めて
いただくためにも、市議会の傍聴をしてみませんか。

傍聴日時：議会は3月・6月・9月・12月に開催されます。

傍聴場所：市役所の7階にあります。

※議会傍聴で手話通訳または要約筆記を希望されるかたは、傍聴希
望日の14日前までに議会事務局までお申し込みください。

(☎048-930-7768)



傍聴席60席うち車椅子席3席

本会議の当日、傍聴人受付簿に住所・氏名を記入していただくだけで
自由に傍聴ができますが、次のことを守っていただきます。

- (1) 騒ぎ立てたり、拍手をするなど、議場への迷惑となるような行為を
しないでください。
- (2) みだりに立ち上がるなど、威圧的な行為をしないでください。
- (3) 携帯電話・カメラ・録音機等は使用できません。
- (4) 飲食又は喫煙をしないでください。
- (5) その他、議場の秩序を乱し、又は会議の妨害となるような行為をし
ないでください。

※傍聴されるかたは、すべて議長、又は係員の指示に従ってください。

●次回の定例会は9月に開かれます。10時から開会となります。

【平成28年9月定例会の予定表】

月 日	曜日	会議別
9月1日	木	本会議
9月2日	金	
9月7日	水	委員会
9月8日	木	
9月9日	金	本会議
9月15日	木	
9月16日	金	本会議 (一般質問など)
9月20日	火	
9月21日	水	
9月23日	金	

6月定例会の審議結果と賛否をお知らせします

○=賛成 ×=反対 △=棄権 数字=賛否が分かれた場合の人数

号	件名	結果	賛否が分かれた場合の人数					
			21世紀	政志会	公明党	共産党	市民派	無所属
議案	40 専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○
	41 専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○
	42 工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○
	43 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	44 三郷市税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	45 三郷市都市計画税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	46 三郷市地域型保育事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	47 三郷市議会議員又は三郷市長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
議員提出	48 固定資産評価員の選任について	同意	○	○	○	○	○	○
	49 待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書	可決	○	○	○	△	○	○
	50 食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書	可決	○	○	○	○	○	○

※このほか報告11件が提出されました。

会派名 (人数)	所属議員名
21世紀クラブ(6)	市川 文雄(議長)、菊名 裕、岡庭 明、野村 徹、逢澤 圭一郎、加藤 英泉
政志会(3)	篠田 進、佐藤 裕之、佐々木 修
公明党(5)	酒卷 宗一、中野 照夫、鈴木 深太郎、佐藤 睦郎、鳴海 和美
日本共産党(3)	稲葉 春男、工藤 智加子、和田 司
市民派クラブ(2)	篠田 正巳、村上 香代子
無所属(1)	森 忠行

※議長は採決に加わっていません。



感謝状

埼玉県市議会議長会及び埼玉県市議会議長会第4区議長会から役員として議長会の発展に尽くされた功績に対する感謝状が贈呈されました。

しのだ すすむ
篠田 進

埼玉県市議会議長会
埼玉県市議会議長会第4区議長会

いちかわ ふみお
市川 文雄

埼玉県市議会議長会



永年勤続議員表彰



全国市議会議長会及び埼玉県市議会議長会の定期総会において、永年勤続議員として、地方自治の伸長発展、市政の向上振興に貢献された功績に対して、表彰されました。



いちかわ ふみお
市川 文雄

全国市議会議長会
(議員歴10年)
埼玉県市議会議長会
(議員歴10年)



きくな ゆたか
菊名 裕

全国市議会議長会
(議員歴10年)
埼玉県市議会議長会
(議員歴10年)

常任委員会行政視察を行いました

当市の課題と先進例の研究を行い、より一層の市民サービス向上に寄与するため、行政視察を行いました。

委員会名	日程	視察先	視察項目
♠ 総務	5月10日 ～12日	徳島市（徳島県） 丸亀市（香川県） 松山市（愛媛県）	汎用Webシステムの利活用（被災者支援システム） 行政評価 都市ブランド推進事業及び選挙コンシェルジュ
♥ 市民福祉	4月19日 ～21日	奥州市（岩手県） 盛岡市（岩手県） 秋田市（秋田県）	協働のまちづくり推進事業 まちなか・おでかけパス事業 エイジフレンドリーシティ構想
◆ 文教経済	5月11日 ～13日	恵庭市（北海道） 函館市（北海道） 八戸市（青森県）	恵庭まちじゅう図書館 空家等の適正管理及び伝統的建造物群保存地区における空家対策の取り組み 南郷アートプロジェクト
♣ 建設水道	5月11日 ～13日	沼津市（静岡県） 焼津市（静岡県） 御殿場市（静岡県）	駅北拠点開発事業 環状交差点改良事業 総合景観条例の取り組み

※行政視察の報告書はホームページで公開しています。

♠ 総務常任委員会

災害発生時における地方公共団体の業務を総合的に支援する被災者支援システムを導入した徳島市。市民に理解された予算やサービスが行えているかを確認する行政評価（内部・外部）を行っている丸亀市。都市イメージの向上を目指す都市ブランド推進事業や学生が選挙啓発活動を行う選挙コンシェルジュについて松山市を視察しました。



松山市での視察の様子

♥ 市民福祉常任委員会

コミュニティ団体などに支援を行い、市民と行政との協働によるまちづくりを推進する奥州市。市内高齢者に「まちなか・おでかけパス」を交付し、高齢者の生活支援、公共交通利用促進をする盛岡市。世界保健機関が提唱した「高齢者にやさしい都市」に賛同し、高齢者のために様々な事業を実施している秋田市を視察しました。



奥州市での視察の様子

◆ 文教経済常任委員会

「恵庭市人とまちを育む読書条例」を施行してから、条例の周知及び普及活動として「恵庭まちじゅう図書館」を開始した恵庭市。空家等対策について既存条例を「函館市空家等の適正な管理に関する条例」に改定し「函館市空家等対策計画」を策定した函館市。「南郷アートプロジェクト」によって、市の文化活動の活性化と地域活力の創出を図っている八戸市を視察しました。



函館市での視察の様子

♣ 建設水道常任委員会

沼津駅北口に、会議場・展示イベント施設・宿泊施設を一体的に整備。地域の拠点として、にぎわいを見せている沼津市。信号のない環状交差点、「ラウンドアバウト」を整備している焼津市。富士山が世界文化遺産に登録されたことを契機に総合景観条例を制定。屋外広告物を含め、建築物の高さや色彩を規制している御殿場市を視察しました。



焼津市での視察の様子

国・政府に要望

6月の定例会では2件の意見書を提出しました

議案第49号 待機児童解消に向けて緊急的な対応を求める意見書

政府は「待機児童解消加速化プラン」に基づき、保育所等の受け入れ児童数の拡大や保育士の処遇改善などに取り組んできたところだが、依然児童が存在する。

また、待機児童は主に大都市を有する都道府県に多く存在することから、問題解決のためには、地域の事情や利用者者の視点に立ったきめ細かな

支援策が重要である。

よって政府においては、必要な予算の確保も含め、早急に待機児童の解消を図るため、次の事項について取り組むことを強く求める。

1 待機児童解消のため、企業主導型保育を強力に推進するとともに「待機児童解消加速化プラン」を着実に実施すること。また、子ども・子育て支援新制度を利用者目線で総点検し、実態に応じた公定価格の実現を図ること。

2 多様な保育ニーズと保育

「意見書」とは…

市民の公益にかかわることについて、議会が意思決定機関として意見をまとめ、議決し、国等の関係機関へ「意見書」として要望などをすることです。



施設とのマッチングを行う「保育コンシェルジュ」について、利用者の視点に立った機能強化を推進すること。

3 都市部における施設整備の用地確保を図るため、定期借地制度や公務員住宅、国立大学法人等の空きスペースの活用など、公有地等を活用した保育所などの整備に取り組むこと。

4 保育士の賃金引き上げやキャリアアップ支援など、保育士のさらなる処遇改善を検討すること。また、短時間正社員制度の推進や育児休業取得の推進など、保育士が働きやすい環境整備にも取り組むこと。



議案第50号 食品ロス削減に向けての取り組みを進める意見書

食品ロスの半分は事業者の流通・販売の過程の中で起き、もう半分は家庭での食べ残しや賞味期限前の廃棄などで発生している。削減には、事業者による取り組みとともに、国民の食品ロスに対する意識啓発も問われてくる。

よって政府においては、国、地方公共団体、国民、事業者が一体となつて食品ロス削減に向けての取り組みを進めるため、次の事項について早急に取り組むことを強く求める。

1 食品ロス削減に向けて、削減目標や基本計画を策定

するとともに、食品ロス削減推進本部の設置や担当大臣を明確化すること。

2 加工食品等の食品ロスを削減するため、需要予測の精度向上により過剰生産の改善を図るとともに、商慣習の見直しに取り組み事業者の拡大を推進すること。

3 飲食店での食品ロス削減に向けて、食べきれ分量のメニューや量より質を重視したメニューの充実を推進するとともに、「飲食店で残さず食べる運動」など好事例を全国に展開すること。

4 家庭における食品在庫の適切な管理や食材の有効活用など普及啓発を強化すること。また、学校等における食育・環境教育など、食品ロス削減に効果が見られた好事例を全国的に展開すること。

5 フードバンクや子ども食堂などの取り組みを全国的に拡大し、未利用食品を必要とする人に届ける仕組みを確立すること。さらに、災害時にフードバンク等の活用を進めるため、被災地とのマッチングなど必要な支援を行うこと。



待機児童解消に向けて

わたしも ひとこと

誰でも読書、どこでも読書

無職 60代 鷹野在住

三郷市が「日本一の読書のまち」を宣言したのが、平成25年3月である。桃栗3年・柿8年と言われるように、木々も人もまちも一朝一夕に築けるものではない。

例えば、木陰のベンチで読書している同輩の姿を目にする時、ベンチの数が少ないように感じる。市民からの寄附による「思い出のベンチ」などが、もっと増えていけばいいなと思う。

また、図書館には、テラス席のような自然の中で読書を楽しめるスペースがもっとあれば、子どもが少し騒いでも気軽に読書を楽しめると思う。図書館での託児サービスもありがたいが、自然の風を感じながらゆっくり読書を楽しみたい。

検診の大切さ

自営業 70代 戸ヶ崎在住

三郷市の健康診査、がん検診の大切さを改めて認識しました。健康だけが取り柄と勝手に思い込み、過去1度も受診しなかった私。一昨年の夏70歳になった途端、体調がすぐれないので受診した結果、大腸がんが見つかり即入院、手術と言われ一時は覚悟しました。幸いにも手術が成功し、転移もないということで、一命を取り留めました。

今まで受診しなかったことを後悔しながらも、命を救ってくれた検診に感謝しています。今は私の経験から友人、知人に検診の大切さを知らせ、受診を勧めています。これからも健康に留意し、趣味の俳句や短歌づくり、また菜園での野菜づくりに励みたいと思っています。



江戸川土手で水防演習

議会あれこれ

陳情を受理

○6月定例会では、陳情16件を受理しました。

他市からの行政視察がありました

○「日本一の読書のまちづくり」について：5月10日に山口県光市議会総務市民文教委員会

○「子育て支援事業」について：5月19日に富山県小矢部市議会民生文教常任委員会

○「総合計画後期基本計画」について：6月20日に茨城県日立市議会基本計画特別委員会

義援金を送付

○三郷市議会議員互助会から、熊本地震に対する義援金を送付しました。

暑中お見舞い

申し上げます

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候の挨拶状などは禁止されており、本紙上をもって、ご挨拶とさせていただきます。

三郷市議会



みさと市議会だより(第166号)
発行 三郷市議会
編集 議会だより編集委員会
〒341-8601
埼玉県三郷市花和田648-1
TEL 048-9300-7768(直通)
FAX 048-9533-1358
URL: <http://www.city.misato.lg.jp>

